



進路ジャーナル

第 108 号

平成30年7月18日

編集発行

磐城桜が丘高等学校
進路指導部
印刷 (株)ネクスト情報はましん

夏を制する者は受験を制す

進路指導主事 今村 義泰

「受験競争」というように、受験は戦いであるが、命そのもののやりとりをするわけではない。当然合格不合格という勝負負けを感ずる要素はつきものだが、これからの長い人生を考えると、合格が人生の成功につながる保障はどこにもないし、本意ではなかった進路から思わぬ人生が拓かれることもある。

それでも、人生には勝負しなくてはならない時がある。自らの理想を実現するためにはどうもつきまとう困難や障害の克服が求められる。受験は確かに他の競い合いではあるが、本質的には自身の理想を追い求めるための戦いと言った方がしっくりくる。自分の戦い、それが真の勝負である。

真剣勝負に臨むには相の準備が必要である。わざわざ斬られに行くために戦場に赴く人間はいない。誰だって傷つきたくはないし、痛い思いをしたくない。戦いは恐怖である。恐怖を感じているからこそ、人は絶対に負けまいとして日々鍛錬を繰り返すのである。その中で、きりきりまで自分の肉体と精神を研ぎ澄まし、勝負の時までに覚悟を決め込む。そうすることで己の迷いは消え、気が付けば戦うにささむけい段階まで

身量の向上するのである。本校生諸君も勝負を意識して毎日を生きていると願いたい。戦う準備を整った者はまだまだ少ない。三年生は本校で最後の夏を迎える。志望校合格に向けて前準備のみである。苦手科目を克服する最大の機会を逃さず、課外での復習や演習を中心に、まとまった時間を活用して目標意に到達するための努力を続けてほしい。この夏の成果が発揮されるのは早くても落ち葉の季節である。現在の志望校から妥協するにまだ早すぎる。

【夏を制するための取り組み】

〇二〇三年生

一 志望校・受験方法の決定

目標がなければ何も始まらない。将来の姿をいったん明確にする。保護者や担任の意見にも耳を傾けることが重要。なお推薦入試の希望は必ず面談で申し出て相談をする。AO入試は八月一日からの出願が多いので、急がなければ間に合わない。

二 合格に必要な学力の確認

模試結果等を参考に、現段階の自分の実力を教科ごとに知る。特に弱分野の把握が不可欠。また志望校の過去問を実際に解いて合格するにはどんな力がどれだけの必要なのか体感することも重要。三 学習方法と学習計画の決定

〇二〇一年生

一 志望学部・志望校の熟考

夏休みには各教科の課題も多く部活動も新人戦やコンクールを控える多忙な日々が予想される。その中で進路を考えるゆとりはなかなかないかもしれないが、二年生は模試で志望校を書き始めるが目標を具体化する最大の機会と言っている。一年生も文理選択が終わって

二 合格に必要な学力の確認

模試結果等を参考に、現段階の自分の実力を教科ごとに知る。特に弱分野の把握が不可欠。また志望校の過去問を実際に解いて合格するにはどんな力がどれだけの必要なのか体感することも重要。三 学習方法と学習計画の決定

〇二〇二年生

一 志望学部・志望校の熟考

夏休みには各教科の課題も多く部活動も新人戦やコンクールを控える多忙な日々が予想される。その中で進路を考えるゆとりはなかなかないかもしれないが、二年生は模試で志望校を書き始めるが目標を具体化する最大の機会と言っている。一年生も文理選択が終わって

二 合格に必要な学力の確認

模試結果等を参考に、現段階の自分の実力を教科ごとに知る。特に弱分野の把握が不可欠。また志望校の過去問を実際に解いて合格するにはどんな力がどれだけの必要なのか体感することも重要。三 学習方法と学習計画の決定

〇二〇三年生

一 志望校・受験方法の決定

目標がなければ何も始まらない。将来の姿をいったん明確にする。保護者や担任の意見にも耳を傾けることが重要。なお推薦入試の希望は必ず面談で申し出て相談をする。AO入試は八月一日からの出願が多いので、急がなければ間に合わない。

職業を意識した進路選択を

校長 比佐 功

「将来どんな職業につきたい。」と聞いたときは、誰もか思いついておらず、高校生の皆さんもこれまで幾度となく考えを巡らしたのではないのでしょうか。私たちが誰しも、いつの頃からか将来なりたいものがこの職業を抱えるものです。そして、その成長と共に夢やあこがれの目標に近づいていく場合と、他への選択へ変わっていく場合とがあります。子どもの頃夢見た職業に就くというところは大変素晴らしいことであり、その実現のため、大きな努力を払って達成したのであれば、なおさらのことだと思えます。

また、その希望が変化していかなくても決して悪いことではないと思えますし、むしろ必要なことであるとさえ感じます。小さい頃はそれほどの知識もなく夢のようなあこがれから来る希望は、時として自分の能力や適性に合わない場合も多いことでしょう。

そこで大切なのは、成長と共に自分の将来について絶えず何を

が、現在の皆さんの進路というところになれば、大学進学という人が多数であるという、どのような大学に合格できるかが一番の関心事であり、努力の方向性なのだと思います。

そこで大事なのは、その選択はどのような要素を含んでいるかということです。学びたい学部や学

事を通じて体験することや、働くことへの心構えや、職種への関心、適正を調べることも行います。学校では職業説明会を実施しますが、企業への案内を行うと三〇を超える企業が集まり、体育館内に多数のブースを構え、生徒はそれぞれ関心の高い教社を選んで説明を聞くという機会があり

決定して欲しいと思えます。特に大学で資格を得ることが、その職業への条件であるならばなおさらです。本校では、昨年度から「いわきカレッジ推進協議会」の協力を得、一年生全員にいわきの企業・産業などを見学し地域とのつながりや社会で働くことの意味を学んでもらう機会を作っています。

東日本大震災による災害からの復興はまだ長時間かかることですが、福島県、とりわけ浜通りやいわき地区では、永続的に復興を担う人材が必要です。本校を卒業した皆さんは、上級の学校を卒業してからのことになるとは思いますが、できれば将来どんな職業に就きたいかを考えて、進路を

科なのか、それは自分の希望する職業につながるものなのかなどです。私が勤務した工業高校では、進路（就職先）を決定するため、一・二年次に、いくつかの企業を訪問し業務内容の説明を聞いてたり施設を見学したりします。またインターンシップとして三・五日間企業に行き、その企業の仕

筑波大学訪問

二年主任 猪 茂男

今年全員で筑波大学を訪問した。当日のつくば市は晴天でも暑く、キャンパスを歩くのには大変で、校地の広さと留學生の数、自転車移動する学生の多さに驚いてしまった。到着して、すぐに「学内散策及び昼食」となり、スタバに行く者や学食で食事を摂る者、買物をする者など、大学の雰囲気を楽しんだようである。その後「全体会」で本校卒業生の渡邊智也さん（社会・国際学群国際総合学類一年）と渡部大樹さん（人文・文化学群日



本語・日本文学類一年）から受験体験や二年生の今にやるべきことなどのアドバイスがあった。二人とも講義の台本を縫って、後輩のために貴重な体験談を話してくれた。その後、筑波大学紹介のDVDを視聴した。次に四講座に分かれて「模擬講義」を受講した。総合大学の名にふさわしく、さまざまな内容の講義が展開され、高度な学問の一端に触れることができた。

最後にクラスごとに分かれて「施設見学」をさせてもらった。教育実習生の菊池わかほさん（人文・文化学群比較文化学類四年）と田口朱穂さん（芸術専門学群四年）の案内で、広大な敷地の中に様々な学問を学ぶことのできる施設を直に見、総合大学の魅力を感じることができた。今回の経験を基に今後各大学で行われるオープンキャンパス等に積極的に参加し、より自分に合った進路の実現に向けて努力を続けてほしいと願っている。

施設見学一覧

1	計算科学研究センター (COMA)
2	プラズマ研究センター
3	研究基盤総合センター (応用加速器部門)
4	アイソトープ環境動態研究センター-基盤研究部門
5	体育センター
6	グローバルコミュニケーション教育センター

模擬講義題・講師一覧

1	「日本語の美しさを考える」 湯澤 賢幸 (ゆざわ たけゆき) 先生
2	「保護犬達もさまたげを考える」：認知活動観察 松田 紀之(まつた のりゆき) 先生
3	「個性尊重のフレックス総合評価」 橋本 昭洋 (はしもと あきひろ) 先生
4	「生活を快適に支える知的制御」 安信 誠二 (やすのぶ せいじ) 先生

生徒感想文

二年組 湊 柚里花

筑波大学に入った瞬間から、違文化の世界に入り込んだような、不思議な気持ちになりました。そして、誰か思っているよりもはるかに大きくやる気が出ました。私が単純なものでしょうか。そして、外国人の言葉の背の高い方がとてもきれいで、外国人とこんなにも簡単に話ができる環境はあまりないのだと、とてもうれしく思います。また、自分のやりたい学部で好きなだけ調べられる大学って良いところですね。良々わかりました。

二年組 淵塚 千咲季

筑波大学を訪問してはじめて思ったことは、とても広いということ。私は、他の大学のオープンキャンパスに行ってみたり、調べたりしています。他と比べるとほんとは大きいなと感じました。学内を散策してみると、日本人学生よりも留学生のほうが多く見かけられる、たくさん留学生がいま

二年組 小澤 美結

筑波大学内の見学や模擬講義、そして全体会を通してたくさんのお話を吸収することができました。自由散策のとき、学食、図書館の二つを見てまわりました。安くておいしい学食に、貴重資料などが見られる図書館と、それだけで大学のよさを

二年組 小澤 美結

筑波大学内の見学や模擬講義、そして全体会を通してたくさんのお話を吸収することができました。自由散策のとき、学食、図書館の二つを見てまわりました。安くておいしい学食に、貴重資料などが見られる図書館と、それだけで大学のよさを

二年組 小澤 美結

筑波大学内の見学や模擬講義、そして全体会を通してたくさんのお話を吸収することができました。自由散策のとき、学食、図書館の二つを見てまわりました。安くておいしい学食に、貴重資料などが見られる図書館と、それだけで大学のよさを

でも気持ちのよい雰囲気を感じることができました。全体会では、二人の先輩のアドバイスを、自分は今何が必要で、何をしなければいけないのか、という未来が欲しいのか、ということをよく考えさせられ、勉強についてよく知ることができました。

模擬講義では、専門的なことを学び、体験し、筑波大学のレベルや大学生活のあり方について学び、自分の価値観をくつがえさせられました。自分があった講義を適切に選ぶという大切さも学びました。

今日の貴重な体験を通して、今の自分のあり方、将来の自分の未来像を考えさせられました。筑波大学の異国や異文化を大切にするスタイルや、異文化社会をどう取り入れるスタイルに感動しました。日本語以外私は全然理解できませんが、大学生になったら、私ももっと日本語以外のものを知りたいと思いました。そのために、今から自分の基礎を磨いていきたいと思えました。

